

てつがくカフェ

= 第71回 =

てつがくカフェとは？

「てつがくカフェ」は、わたしたちが普段、当たり前だと思っている事柄から、いったん身を引き離し、「そもそもそれって何なのか」といった問いとして投げかけます。そして、ゆっくりお茶を飲みながら対話し、自分の考えを遅くすることの難しさや楽しさを体験するものです。

<https://www.smt.jp/projects/cafephilos/>

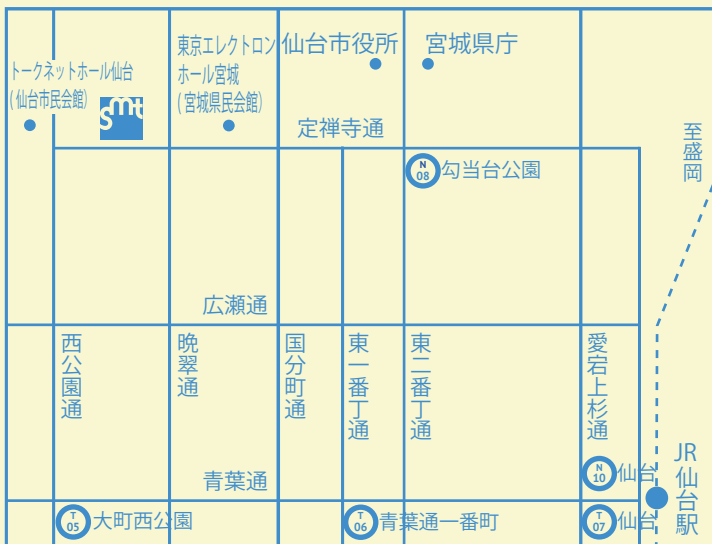
「てつがくカフェ」で行われるさまざまなイベントのスケジュールやこれまで開催されたイベントのレポートを閲覧できます。

「考えるテーブル てつがくカフェ」は、これまで8年にわたり（延べ70回）震災に関連した哲学対話の場をひらいてきました。その多くは、毎回事前にテーマを設定（共有）し、参加者どうしの丁寧な対話をもとに、震災にかかわる問いや課題に答えるといふかたちのもとですすめてきました。しかしながら、震災から9年目を迎えたつある今、その長い時間の経過とともに、それぞれの震災に対する考え方や関心のあて先、さらにはそれらに対する意識の強さにもさまざまな（違い）が生じつつあります。そこで、「考えるテーブル てつがくカフェ」では、昨年度より、そのような個々のあいだにある（差異）によりこまやかに

に対応し、また被災地の今の空気感や気分、思いにもいっそう寄り添っていきけるように、あえて事前にテーマを設けず、参加者の方々と毎回その場でテーマを決めながら対話を深めていくという方法を探ることにしました。みなさんは今、震災以降をどのような思いで過ごしておられますか。その個人的な思いや問題関心をひとりの内側で閉じてしまわずに、多くの人がともに考え、アクセスすることができるようひとつの「テーマ」にまで展開させ、さらにそれを、他の参加者との哲学的な対話をおしてさらに深めていきますか。みなさま、ぜひご参加ください。

助成：一般財団法人 地域創造

smt せんだいメディアテーク
 仙台市青葉区春日町 2-1
 022-713-4483



2019年8月18日(日) 13:30-16:00

せんだいメディアテーク 7f スタジオ a

申込不要・参加無料・直接会場へ

メディアアスタディーズ 「てつがくカフェ」は、せんだいメディアテークの事業「メディアアスタディーズ」の一環として実施されています。
<https://www.smt.jp/projects/mstudies/>

主催：てつがくカフェ@せんだい / せんだいメディアテーク

お問い合わせ：mmp0861@gmail.com (てつがくカフェ@せんだい・西村)

※この用紙はリサイクルできます

前回てつがくカフェのレポート

第70回てつがくカフェ「二重のまち／交代地のうたを編む」の映像記録から継承を考える／2019年3月31日／メディアテーク7fスタジオa

「3がつ11にちをわすれないためにセンター」が企画する「星空と路」の関連イベントとして開かれた第70回目のてつがくカフェでは、2011年より陸前高田で記録を行ってきた小森はるか+瀬尾夏美のアート・ユニットによるプロジェクト「二重のまち／交代地のうたを編む」の映像記録とそこに参加した4人の若者の声から、継承について考えていきました。

同プロジェクトは、あたらしいまちの姿が見え始め、かつてのまちの面影が徐々に遠ざかりつつある2018年9月の陸前高田において、小森+瀬尾のふたりが、まちの人びとと、遠くの土地からやってきた若い旅人が出会い、会話を重ね、風景を共有するための仮設的な場をつくるものでした。

災害が降り立った土地に赴き、当事者の方々を訪ね、その話に聴き入った、東北の被災地から時間的にも空間的にも、ある距離感を抱いていた4人の若者。その4人が、自身の思いをカメラに向かって語る、1つの映像記録を視聴してから、今回のてつがくカフェは始まりました。

まずは、映像を視聴して感じたこと、考えたことなどを、自由に語り合い、聴き合う時間です。

<会場からの発言>

作品に映っていた、4人それぞれの語り口、身振りや手振り、言い淀み・・・4人の振る舞いからは、画面に映ってはいない人たちの、言うなれば語りの背景にいる人たちの、気配のようなものを感じた・・・

「どのような話が、震災という出来事を継承していくに値するのだろうか。」と考えていくと、そこにはある「価値判断」が生じてしまう。

「伝える」と「伝わってしまう」ことの間には、違いがあるのではないか・・・「継承」「語り継ぐ」といった言い方との違いは何か・・・？

いくつもの発言が、重なり合いながら繋がり、そして意味を吟味し合いながら、対話は続いていきます。次は、いくつかのキーワードをあげながら、それぞれの言葉を、更に更に掘り下げていきます。

- ・ 欲求
- ・ きっかけ
- ・ 思い

この3つの言葉には、自分ではコントロールできない、意図を超えたようなものが、込められているのではないか、ということが語られていきます。

- ・ 身近
- ・ 旅人（旅）
- ・ 関係性
- ・ 媒体
- ・ 誰に対して？
- ・ ギャップ

そして以上の6つの言葉については、人を含めた、何らかの存在との「関係性」が含意されているのではないかと、それぞれの意味を改めて捉え直していきました。

最後は、今回のてつがくカフェのキーワードとなる言葉をもとにして、「継承」の定義をいくつか練り上げていく時間です。5時間という長い間、対話の中で重ねられていった言葉の数々を大切にしながら、最終的には、1つの定義を作り上げました。

継承とは、関わらずにはおれないという欲求から始まり、語る聞くのやりとりの往復を介して、次の想像（創造）への橋渡しをしていく営み。

一方で、今回のてつがくカフェでは、もう少し掘り下げてみたかったキーワードもありました。「"よい" 継承とは？」という言葉です。時間の都合上、残念ながら十分には吟味することができませんでしたが、「継承」には何らかの価値判断が入り込んでいるのではないかという問いかけも、今回の対話に通感していたことでした。

5時間という長丁場を、参加者の皆さんと、こんなにもじっくりと、膝を突き合わせて考えられたことは、本当に得難い経験でした。あの場集った皆さんに、心からの感謝を申し上げます。